

秋号
NO. 4

夢花志(ゆめばなし)



発行：JCC広報委員会 電話：052-618-6606 FAX：052-618-6607
ホームページ：https://community-care.co.jp

理念
私たちは豊かな地域
共生社会の創造に貢献します。



児童発達支援・放課後等ディサービス 森の妖精-作品『ひな祭り』

この子らを世の光に 無財の七施(むざいのななせ)

『この子らを世の光にと』
『この子らに世の光を』の違いとは

「を」と「に」が逆に
なれば、この子どもたち
は哀れみを求めるかわい
子らは、みずみずしい生

「を」と「に」が逆に
なれば、この子どもたち
は哀れみを求めるかわい
子らは、みずみずしい生

命にあふれ、むしろ回り
の私たちに、そして世の
人々に、自分の生命のみ
ずみずしさを気づかせて
くれるすばらしい人格そ
のものであります。

無財の七施とは、**眼施**
(げんせ)・人にやさし

財産がなくても

いまなごしをもって接す
ること、**和顔悦色施(わ
がんえつじきせ)**・ここ
やかなほほえみをたたえ
た顔で接すること、**言辞
施(げんじせ)**・言葉の
美しさ、やさしい声で接
すること、**身施(しんせ)**・
勤労奉仕のこと、**心施
(しんせ)**・感謝の心、
牀座施(しょうざせ)・
席をゆずってあげること、
房舎施(ぼうしゃせ)・
一宿一飯の施しというこ



ナーシングホーム
花へるカフェ

と。福祉に携わる私たち
は、系賀先生のこの言葉
に出会い、感動、共感、
**力いっぱい生命
を開花する**
そして、目指す自分の福
祉像に勇気を与えてくれ

た。私たちは、今一度、
地域共生社会とは何か、
地域包括ケアとは何かを
考えていく必要があると
思う。社会構造や暮らし
の変化に応じて、制度・
分野ごとの「縦割り」や
「支え手」「受け手」と
いう関係を超えて、地域
住民や地域の多様な主体
が参画し、人と人、人と
資源が、世代が、つなが
ることが、これらの時代
に求められている。

幼老ケアの実践

私が小学校の頃、友達
の家へ遊びに行ったとき
の出来事です。友達のお
姉ちゃんが、私の帽子を
無理やり取ると、その帽
子に、印鑑を押していま
した。その顔つきに私は
ショックを受け、何も言
えず、家に帰り帽子を洗
っていました。その晩、友
達のお母さんが自宅に
来て両親に謝罪をしてい
ました。私の福祉への原
点はその出来事に始ま
ります。どうしたらあの時、

友達のお姉ちゃんに声
をかけてあげられたのだ
ろうか。自閉症等障害を
持つ方のために私に何が
出来るのだろうか。無財
の七施に語りかけていま
す。

